

# Special Interview

## SHOGUN 芳野藤丸

1970年代の終わりに大人気を誇ったTVドラマ『俺たちは天使だ!』『探偵物語』と言えば、真っ先に思い出すのはオープニングやエンディングで流れた「男達のメロディー」や「Bad City」「Lonely Man」。それまでの邦楽とは異なるカッコいいサウンドと日本人離れしたヴォーカルに痺れた人も多かったはず。その音楽を手掛けたバンドの名はSHOGUN。

1978年に芳野藤丸を中心に腕利きスタジオ・ミュージシャンで編成されたONE LINE BANDのメンバーの大半がSHOGUNのメンバーとなり、翌1979年に『俺たちは天使だ!』の主題歌「男達のメロディー」が大ヒットを記録。一躍脚光を浴び、続く『探偵物語』の音楽を担当して人気が爆発。しかし、1980年にリリースしたサード・アルバム『YOU'RE THE ONE』以降、1997年まで主だった活動がなかったため、伝説のバンドのように語られることも多かったが、2001年の活動再開以降はライブ活動やアルバムも発表された。そして、今年2013年1月9日に7年振りの新作『SOUND SPLASH』がリリースされ、大阪、名古屋、東京でアルバム発売記念ライブが行われた。

オリジナル・メンバーの芳野藤丸 (g&vo) とミッチー長岡 (b&vo) に、岡本郭男 (ds) と佐倉一樹 (key&vo) が加わった現在のSHOGUN。東京・目黒「Blues Alley Japan」でのアルバム発売記念ライブを数時間後に控える中、SHOGUNのリーダー芳野藤丸さんとのインタビューが実現! 貴重な話の数々を聞かせて頂き、その後のライブも最高、感動&感激でした!

【2013年1月26日(土)「ウエスト」にて 取材&文:加瀬正之】



写真提供: 株式会社ドリーム・ウィーバー

### ★7年ぶりの新作は、どのような思いで作られたのですか?

とにかくメンバーが変わったので、4人で音を出してみたらどういう風になるかなって、僕自身興味があったんです。最初はみんなで「オリジナル作るのか?」って言っていたんだけど、ちょっと待てよと思って。それをやるのもいいんだけど、過去の曲をやって欲しいというリクエストがあったんですよ。みんなスタジオ・ミュージシャンなんで、そのままやるっていったら、そのまま出来ちゃうんですけど、リメイクと同じことやってもらえないんで、今回はひとひねり加えて、アップテンポのものはスローにしたり、ちょっとボサノヴァみたいにしたりとか、アレンジを加えて作ってみようっていう発想のもとに始めただけなんです。だから、僕らの中では全曲新曲の本当のオリジナル・アルバムはこの次になるかなって思っているんです。製作サイドのOKが出ればですけどね(笑)。今後はライブも増やしたい気持ちですが、個人個人のスケジュールもあるので、そこ辺の兼ね合いが一番難しいんですけどね。

### ★「Bad City」をボサノヴァ風にした「Bad City Bossa」やスローな「男達のメロディー」が収録されていますが、SHOGUNの代表曲のアレンジを変えて演奏することに葛藤はありましたか?

いや、かえって面白かったです。むしろ昔のままのアレンジでやる方がちょっと無理なんじゃないかなと思って。もう30年以上前じゃないですか。僕だってもう還暦迎えて、それなり年代に入っているし、声も昔の方が若いし。頑張ったらあの頃の感じに出来るかもしれないけど、若作りして頑張ることはない。それよりは「今のままの俺たちでいいんじゃないの?」「肩の力抜いてやれる範囲でやるよ」ってやったのが今なんので。まあ、ライブでは多少無理するかも無理じゃないですけど(笑)。

### ★2008年に大谷和夫さん、2009年にはケーシー・ランキンさんと一緒にSHOGUNのメンバーだった方が亡くなってしまいましたね…

ショックはショックですけど、こればかりは嘆いてばかりもいられないんでね…。現実にもういないんだから。でも、やっぱりこのプロジェクトを潰してしまうのもつたいないなって思っていて、何とか続けたいなと思ってた時に、ちょうど上手い具合に今のメンバーが集まったんです。ドラムの岡本っち(岡本郭男)とキーボードの佐倉(佐倉一樹)は旧知の仲だし、ミッチー(ミッチー長岡)は相

変わらずミッチーなんで、「じゃあ、これで試しにやってみようよ」ってことで始めたんです。最初はSHOGUN STYLEっていうバンド名でやったんだけど、「もう、このままでもいいんじゃないの?」ってことで、STYLEを取っちゃったんです。

### ★ONE LINE BAND からSHOGUNにバンド名を変更された時はどう思われましたか?

出版社の偉い方が「『SHOGUN』がいいんじゃないか?」って言うんで決まったんです。僕らはその頃みんなスタジオ・ミュージシャンやっていたんで、こだわりとがポリシーが全くなかったんです(笑)。

### ★ONE LINE BANDの由来

『Yellow Magic』(ONE LINE BAND 唯一のアルバム)はハワイでレコーディングしたんで、空港に飛行機が降りる時にチョウコのように白線のワンラインが入っているのを見て、このラインをもとに飛行機が飛んだり降りて来たりするんだな…と思って、「じゃあ、『ONE LINE BAND』でいいんじゃないの?」ってことで決めたんです。単純な発想で、深い意味は何にもないんですよ(笑)。

### ★ONE LINE BAND ~ SHOGUN 以前に、西城秀樹さんのバックバンドとして藤丸バンドで活動されていましたが、秀樹さんは当時の他のアイドルとは違いましたか?

僕はそれまで「アイドルじゃん!」とかずっと思ってたけど、実際現場で初めて一緒にやらせてもらった時は、「ロックじゃん!」と思いましたね。やっぱり、人に見せるっていうか、「お客さんを喜ばすことであれば何でもやる!」みたいになスタッフも含めて、プロデューサーも凄かったからね。

### ★当時、歌謡曲のジャンルに抵抗はありませんでしたか?

ないです。だって、それがあつたらスタジオ・ミュージシャンなんかできないから。スタジオは演歌だろうと何だろうとやらなきゃいけないじゃないですか。まあ、それでお金頂くわけだから。その辺は全然こだわりはないですよ。

### ★一番思い出に残っているSHOGUNのライブは?

やっぱりそれはロスに行った時でしょ(1979年米国ABCテレビの

有名音楽番組『American Bandstand』に出演)。あれは1泊3日とか凄いスケジュールだったんですよ。その時に共演したのがシックとビーチ・ボーイズ。今思うと、ナイル・ロジャースとか一緒にだったんだけど、僕はビーチ・ボーイズの方に無い上がっちゃってたから(笑)。ブライアン・ウィルソンに「うちに遊びに来いよ！」とか言われたんだけど、僕ら終わって直ぐ日本に帰るなきゃいけなかったからね(笑)。

#### ★向こうでの観客の反応はどうでしたか？

『American Bandstand』は生演奏じゃなくて、オケだったんです。当時の向こうのTV番組はみんなそうでしたよ。『Soul Train』なんかもみんな演奏は生ではやってないですから。

#### ★芳野さんは3歳でバイオリンを習い始めたそうですが、音楽一家で育ったのですか？

いえ、音楽一家とは全然関係ないんです(笑)。母親の見栄で、弓で引っぱたかれながら無理やりやらされただけ(笑)。嫌で嫌でしょうがなくてね。それで、肩越して弾いていたのが、いつの間にか横(=ギター)になったんです。

#### ★ギターを始めたのはいつ頃ですか？

大学の軽音楽同好会みたいな所に入ってからで、それまでは全く弾いたことなかったです。

#### ★大学時代に相当ギターを練習されたのでは？

友達に言わせて、ギターを抱いて寝ていたみたいです(笑)。それくらい入り込んでいたんでしょうけど。

#### ★最初に憧れたギター・ヒーローは誰ですか？

やっぱりクラプトンとか、ジェフ・ベックとか、あと、ジミヘン。その辺は多分、僕らの時代はみんなそうなんじゃないかな。

#### ★大学生仲間と結成したバンド=WISHについて

完全アマチュアの学生バンドですから、オリジナルなんかやらなかったし、当時僕らが好きだったジェフ・ベックとか、ヴァニラ・ファッジとか、ディープ・パープルとか、いわゆるロックのコピーばっかりだったですね。それで、都内のディスコ等を回らせてもらっていました。

#### ★元タボール・マッカートニーが大好きだったそうですが、最初はベースストに変わったのはなぜですか？

はい、僕ベース好きなんです。新入生の時にバンドを組まされるんですね。その時に僕は「ベース！」って言ったんですけど、ベース候補が3人いて、ジャンケンで負けてギターしか残ってなかったんです。

#### ★影響を受けたビートルズのアルバムについて教えてください

『ラバー・ソウル』っていうアルバム辺りまでのビートルズが一番好きなんです。それから後はあまりにも凄くなり過ぎちゃったんで、僕はあんまり好きではないです。

#### ★ヴォーカリストとして

ヴォーカルを始めたのはアマチュアの頃です。リード・ヴォーカルがいたんですけど、事情があって辞めちゃったんです。それで、僕しか歌うのがいなくなると、仕方ないからやっていたうだけ。だから、今でも辞められたら辞めたいんですけどね(笑)。ヴォーカルに関しては、あまり考えたことないんですよ。全然僕の希望じゃないんです。僕はどちらかというとコーラスの方が好きなんです。今でもいい人がいたら代わってもらいたいくらい(笑)。

#### ★作曲について

作曲を始めたのは、スタジオの仕事をやり始めてからですね。譜面の書き方とか読み方、アレンジの仕方とか、スタジオに入ってから覚えたんで。いろんなアレンジャーと仕事をするから、スコアを盗み見てはこうやって書くんだ？！って覚えたり、勉強したりしました。

#### ★ジャズについて

今でもジャズは苦手です。いいなどは思いますけど。渡辺香津美さんと一緒に演奏したこともあるけど、めちゃくちゃ上手いし、凄い



と思うけど、自分がやりたいとは思わないですね。

#### ★芳野さんのソロ2作目『ロマンティック・ガイズ』で、ロベン・フォードやネイザン・イースト等と共演していますね

ネイザンもロベンも別にジャズの人だと思わずに、ロスで偶然知り合って仲良くなって、レコーディングを手伝ってもらった話です。

#### ★好きなベーシスト、またはジャズ・ベーシストはいますか？

スタンリー・クラークとかは好きですけど。あとは、チャック・レイニー！ チャック・レイニーは日本に来た時にスタジオと一緒にやったことがあるんですよ。確か蒲池猛さんのアレンジの時だったかもしれないですけど。僕は全く知らなくて、「この黒人のおっさん誰だ？」とか思ったら、「チャック・レイニーっていう有名な人だよ！」って言うんで(笑)。それから、一緒に山手線に乗ったんです。当時の山手線って真ん中にポールがありましたよね。チャック・レイニーがあれを指で「フーン」って鳴らしたんですよ。「スゲー！」って思いましたね(笑)。

#### ★1973年にロッド・スチュワート&フェイスズと日本武道館で共演されていますが、フェイスズのベーシストだった山内テツさんとのエピソードはありますか？

テツはもうただの酔っ払いでした(笑)。当時いつもベロンベロンになってグダグダで、ライブの時もみんなでステージ手前まで抱えて行って、ステージ脇から「ほら、行け！」って(笑)。テツはそういう状態でしたからね。もう死んじやうんじやないかなと思ってたから。あの後、テツがフェイスズを辞めて日本に帰って来て、それから交流は全くないですね。

#### ★ロッド・スチュワートの印象は？

僕のロッドの印象って言ったら、ちょうどその日本公演に来た時に、確かヒルトン・ホテルだったかな？ 僕らは部屋に遊びに行ったんだけど、テツたちは酔っ払ってベロンベロンになって部屋で大騒ぎしていたんですよ。そしたら、ロッドが「コンコン」って部屋をノックに来たんです。ロッドは風邪引いていたんですよ、「ゴホン！ゴホン！」言いながら。それで、ロッドが「ワンフロア全部の部屋を借りているんだから、騒ぐんだったら、一番端の部屋に行ってくれないか？」って言ったんです。そしたら、テツが「うるせえ！お前が行け！」って言って、ロッドがトボトボと一番端の部屋に行っちゃっていう…。そういう印象くらいしかないですね(笑)。

#### ★70年代に人気があった2つの日本のバンドについて

##### 《はっぴいえんど》

はっぴいえんどは茂(鈴木茂)とは仲良いですけど、個人個人はあんまり交流はないですね。僕は良いとか悪いとかあまりコメントはしないんですけど、やっぱり当時名前が出てくるグループってそれなりにいい部分をいっぱい持っていましたよね。

##### 《キャロル》

キャロルの「ファンキー・モンキー・ベイビー」とか、レコーディングの時にスタジオに見に行きましたよ。フィリップスっていう同じレコード会社だったんで。僕はその時にのびるとスペースバンドやって、「何か変わったロックンロール・バンドがレコーディングし



てんだよ」って言われて、スタジオの窓から覗いていたら、本当に弾きながら、踊りながらレコーディングしてるわけ。こいつら面白けれななって思ってたね。そうしたら、あっという間に革ジャン着て、ガーンって売れて行きましたね。ライブで共演したことはなくて、個人的に特にメンバーとの交流もなかったですけど。

#### ★ SHOGUN 時代にライバル視していたバンドはありましたか？

別になかったですけど、あの頃ちょうど TOTO とか、ああいうバンドが出てきたんで、むしろそっちの方が「スゲー！」って言って聴いてましたけど。あと、僕は井上堯之バンドは尊敬してましたね。その影響で秀樹と一緒にやったんです。「めざせ堯之バンド！」って。沢田研二・井上堯之バンドでしょ？ 西城秀樹＋藤丸バンドって。当時そういうのが流行だったのかな？ みんな専属のバンドを作っていたからね。

#### ★ 井上堯之さんとは個人的に交流はあったのですか？

電話したりとかそういうんじゃないんですけど、堯之さんとは個人的にも会えば「堯之さん！」って、いつもお互いにそういう感じでした。僕は堯之さんを尊敬してるし、人間的にも大好きなんで、体を壊されてからは会っていないですね。

★『俺たちは天使だ！』のテーマ曲「男達のメロディー」と『探偵物語』のオープニングとエンディングの曲「Bad City」「Lonely Man」は、ドラマが先に完成していて、映像に合わせて曲を作られたのですか？  
いえ、曲が先に出来上がっていて、それが使われただけなんです。

★『俺たちは天使だ！ミュージックファイル』や『探偵物語ミュージックファイル』としてアルバムもリリースされていますが、ドラマの中の様々なシーンで流れた曲はどのようにして作られたのですか？

あれは別途、ドラマの内容は関係なく、後で大谷君（大谷和夫）がアレンジして、その部分だけ作ったりかしたんです。あれも曲が先ですね。ドラマのシーンを見て曲を作るとか、そんなこと一回もしたことないんですよ。僕らそんなことできるわけないですから（笑）。

#### ★ 松田優作さんとのエピソードを聞かせて頂けますか？

2、3回飲みに行ったことはありますけど、いい人でしたよ。音楽に関して、やっぱり役者魂っていうか、自分の見せ方をよく知っているから、ステージでも夏の暑い盛りには野外コンサートでわざと革ジャン着るんですよ。裸の上に。そうすると、自然に汗をかかじやないですか。それでパッと脱いで、汗がダラーと垂れているのを客に見せるんです。そういうところはプロでしたよ。優作とライブの共演は「日比谷野音」での1回だけ。後はレコーディングで曲書いただけです。僕が作った曲を歌ってくれてね。優作は僕を見るいつも（腰を低くして礼儀正しく）「あっ」って言うてましたよな。

★「天城越え」（石川さゆり）、「木綿のハンカチーフ」（太田裕美）のギターは芳野さんが弾かれていますけど、他に意外に知られていない曲はありますか？

「夢芝居」（梅沢富美男）もそうです。演歌はいっぱいありますよ。北島のサブちゃんも。あと、演歌じゃなくてフォークの方ではアリスとか。「君のひとみは10000ポルト」（堀内孝雄）とかもそうです。

#### ★ 芳野さんが最も影響を受けたアルバムを3枚挙げてもらえますか？

ビートルズが一番最初のアルバム（ハーフ・シャドーを使った4人の顔が並ぶジャケット写真でも有名な）『ミート・ザ・ビートルズ』。あと、イーグルスの『ホテル・カルフォルニア』。それと、ジミヘンの『エレクトリック・レディラン』。この3枚ですかね。

#### ★ 今の若いミュージシャンたちをどう思いますか？

今の若い連中の方が、前に出よう！ 前に出よう！ っていうか、変な話、人を踏み付けてでも前に行こうっていう意識がある連中が多いですよ。僕らの時代は遠慮しちゃうたり、照れたりして、そんなことできなかったですからね。今の子たちって臆面もなく行くじゃないですか。それはいいなって思いますよな。

#### ★ 当時の音楽シーンとはやはり違いますか？

それは違いますよ。今の方がお行儀良過ぎるけど。僕らの時代はめっちゃくちゃだったもん。当時ロック・ミュージシャンって言ったら、私生活もボロボロだし、それも含めて「ロックだ！」って言うてたけど、今そんなこと言ったら馬鹿にされるだろうし、「それ、いけないんじゃないですか？」なんて言われるからさ（笑）。

★ここ最近では芳野さんが共演されたジョー・山中さんや桑名正博さんが他界されていますが、その都度いろいろの思いがあるのでしょうか？  
それはありますよ。でも、裕也さん（内田裕也）だけは何故かいるなって（笑）。でも、あの人がいるんだから、僕も大丈夫になって（笑）。

#### ★ 今後の夢は何ですか？

自分がいいなって思う連中を世に出したいっていう思いはあります。今日のライブを手伝ってもらう Yammy とかね。凄く気に入っているんだよね。この先、彼女のアルバムとか作ってあげたいし、彼女からもそういう要望が来ているんで、予定はしてますけど。

#### ★ ソロでの活動について

SHOGUN の活動と平行して自分のソロ・アルバムも作って行きたいですね。夏以降に出せたらいいなって思っていますけど、今グループでやっているんで、グループの方が面白いかなとも思っています。

#### ★ 最後に、芳野さんにとって SHOGUN とは？

まあ、一緒にやっていると楽しい仲間っていうか、やれる限りは続けたいって思っています。

★このインタビュー後に「Blues Alley Japan」で行われたアルバム発売記念ライブには、竹上良成（sax）と中野勇介（tp）の他、ゲストに芳野さんが大注目している京都発のオーガニック・シンガー Yammy が参加。1st ~ 2nd ステージを通して、新作からの全曲に「男達のメロディー」「Bad City」「Lonely Man」は勿論、個人的には SHOGUN の 2nd アルバム『ROTATION』に収録されているミッチーさんの Jazzy なヴォーカル・ナンバー「The Tourist」を披露してくれたのも嬉しかった。また、会場には「俺たちは天使だ！」に出演していた女優の長谷直美さんの姿もあり、芳野さんの紹介でステージにも登場するなど、大盛り上がりだったライブとなった。SHOGUN は永遠 & 最高です！

# SHOGUN & 芳野藤丸 ディスコグラフィ



「男達のメロディー」を収録した1stアルバム

**SHOGUN SHOGUN**

SRCL-2084 [1979]



「Bad City」「Lonely Man」収録の2ndアルバム

**ROTATION SHOGUN**

SRCL-1861 [1979]



3rdアルバム & 第1期メンバーによる最後のアルバム

**YOU'RE THE ONE SHOGUN**

SRCL-2085 [1980]



1980年に発売された初のベスト・アルバム

**BEST OF SELECTION SHOGUN**

27AH-1175 [1980]



第2期メンバーによる17年振りの3rdアルバム

**NEW ALBUM SHOGUN**

SRCL-4167 [1997]



第1期メンバー時代の曲と未収録曲を収録したベスト

**SHOGUN THE BEST SHOGUN**

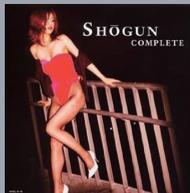
SRCL-4134 [1997]



第3期メンバーにゲストのケイン・富永参加の5thアルバム

**SHOGUN 2002 SHOGUN**

WACD-101 [2001]



第1期メンバー時代の曲34曲収録の2枚組ベスト

**COMPLETE SHOGUN SHOGUN**

MHCL-45 [2001]



第3期メンバーによる2006年発売の4thアルバム

**KEEP ON PLAYING SHOGUN**

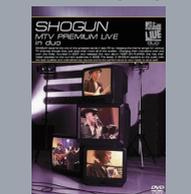
SCDH-00008 [2006]



第4期メンバーによる最新アルバム & 7thアルバム

**SOUND SPLASH SHOGUN**

DQC-1001 [2013]



『KEEP ON PLAYING』レコライブを収録した映像作品

**MTV Premium LIVE SHOGUN**

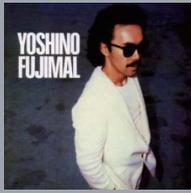
HMBH-1033 [2007]



ワン・ライン・バンドが残した唯一のアルバム

**YELLOW MAGIC ONE LINE BAND**

RATCD-4304 [1978]



1982年にリリースされた芳野藤丸の1stソロ・アルバム

**YOSHINO FUJIMAL 芳野藤丸**

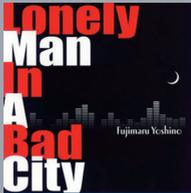
RATCD-4337 [1982]



1983年にリリースされた芳野藤丸の2ndソロ・アルバム

**ROMANTIC GUYS 芳野藤丸**

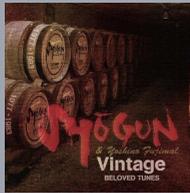
RATCD-4338 [1983]



2007年にリリースされた芳野藤丸の3rdソロ・アルバム

**LONELY MAN IN A BAD CITY 芳野藤丸**

WACD-101 [2007]



「SHOGUN」「藤丸バンド」「ONE LINE BAND」「ソロ」から収録

**VINTAGE-BELOVED TUNES SHOGUN & 芳野藤丸**

MHCL-2101 [2012]

2013年1月にリリースされたSHOGUNの新作!



【曲目】

1. Yellow Magic
2. I'll miss you
3. Bad City Bossa
4. Happy Birth day
5. 男たちのメロディー
6. Silently she said
7. 切なさを感じて
8. Snow

【メンバー】

芳野藤丸 (g&vo)、ミッチー長岡 (b&vo)  
岡本郭男 (ds)、佐倉一樹 (key&vo)、他

**SOUND SPLASH**

DQC-1001 / ¥2,500 (税込)

【SHOGUN Official Website】<http://www.sho-gun.net/>  
【芳野藤丸 Official Website】  
<http://www.2u.biglobe.ne.jp/~krishna/fujimal/index.html>

芳野藤丸さんサイン入りCD (1名) プレゼント!



住所、氏名、電話番号を記載の上、下記アンケート (①~⑤) に答え頂き、件名に「芳野藤丸サイン入りCDプレゼント係」と明記の上、下記メールアドレス宛てにお送り下さい。  
⇒ [thewalker@k07.itscom.net](mailto:thewalker@k07.itscom.net)  
①性別 ②年齢 ③職業 ④当インタビュー記事の感想 ⑤本誌の感想  
【当選は発送にて代えさせていただきます】